

環境共生住宅をつくる

牧内 恵里子

株式会社岩村アトリエ

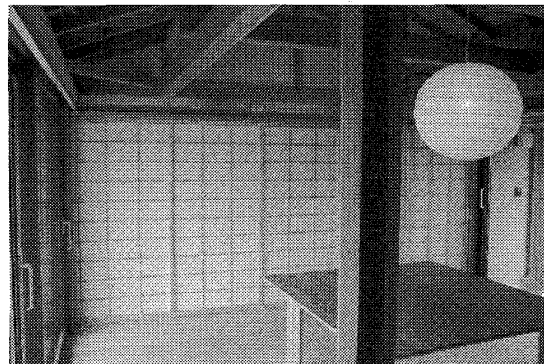
大学院卒業後、学部時代からあこがれていた小さな設計事務所に就職した。その事務所の先生は、環境共生住宅を設計し、普及させる活動に取り組んでいる。

通常のデザイン事務所とは異なり、設計業務は全体の半分以上、半分以上は、環境共生住宅に関するコンサルティングや調査研究業務である。私は入社以来、主にコンサルティング部門での仕事を行っている。初めての仕事は、福島県いわき市に建つ住宅展示場のモデルハウスの温熱環境の実測のとりまとめであった。学生のころ特講で話を伺った東工大の梅干野先生との共同研究だった。小さな事務所なので当初からほぼ一人で、任されたため少なからずプレッシャーを感じたが、卒論及び修論で土壁住宅の温熱環境の研究をしていたため、実測方法をはじめ、研究の流れが理解できたのでほっとしたのを覚えている。

その後、10年、一貫して取り組んでいるのは、環境共生住宅推進協議会という任意団体のコンサルティング業務である。(HP参照：<http://www.kkj.or.jp/>) この団体は、国土交通省の支援を受け、地方公共団体や、エネルギー会社、住宅会社、ゼネコン、建材メーカーなど住宅にかかわる幅広い業種が集まり、環境共生住宅を普及させるために活動するもので、今年で16年目になる息の長い団体である。この団体では私たちは主に、環境共生住宅の評価手法の検討や、環境共生住宅を構成する様々な建材や部材の評価などの調査研究業務のサポートを行っている。これらの研究の成果がその後、「環境共生住宅認定事業」に実を結んだりしている。

小さな事務所の利点として、国や企業、または個人のお客様を相手に、様々な仕事をさせてもらっている。入社まもない自分が、大手企業の部長クラスの方と仕事ができるなど、今考えると恐ろしい気もするが非常に恵まれた環境にあった。様々な立場の方にお会いし、お話をお伺いすることで、様々な意見にも触れることができ、視野を広げることができているのではないかと考えている。

(1995年度生活科学研究専攻修士課程修了)



最近竣工した環境共生住宅